

【概要版】岡山市文化芸術振興ビジョン

[平成 29 年度～平成 33 年度]

平成 29 年 3 月 岡山市

地域の文化は、歴史や風土とそこに暮らす人々の営みから育まれてきたものであり、その地域の個性を表すものです。地域文化の振興は、人々に地域への愛着を深めさせ、地域を輝かせ、活力とにぎわいをもたらすといわれています。

また、表現者の創造活動で制作された作品は、鑑賞者に様々な感情を抱かせ、時に想像力や創造力を刺激します。作品を介してコミュニケーションが活発になれば、多様な価値観を共有したり、新しい人のつながりが生まれやすくなります。

文化とは、広義に定義づけると衣食住や生活様式など「人の生活すべてにまつわるもの」に広がりますが、「岡山市文化芸術振興ビジョン」においては、平成13年に制定されたわが国の文化芸術振興基本法に例示された芸術、メディア芸術、伝統芸能、芸能、生活文化、文化財等の文化芸術分野を基本とし、史跡や民俗芸能、習俗等の歴史文化資源や、魅力ある街並み・景観等を対象としています。

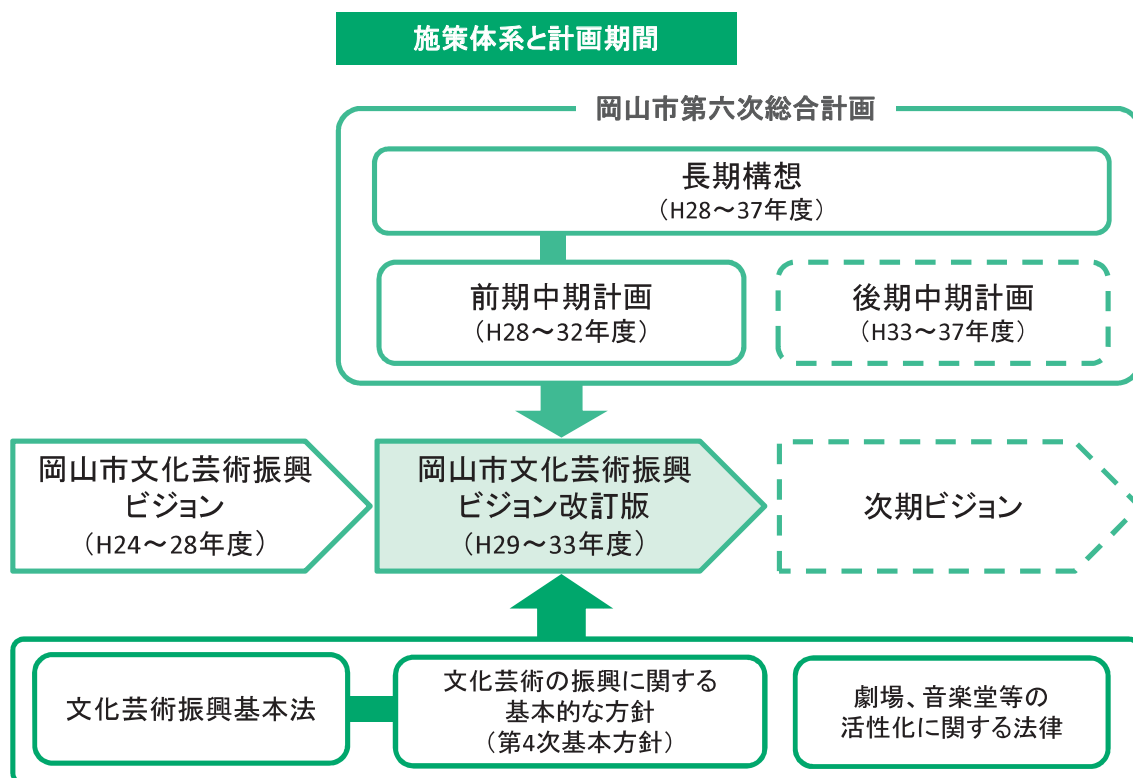


うらじゃ

○位置づけ

岡山市第六次総合計画長期構想（期間：平成 28 年度～平成 37 年度）では、「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」を基本目標とし、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」を基本方向としています。岡山市固有の歴史・伝統・文化をまちづくりに活用するとともに、市民一人ひとりが学び親しむことにより、様々な交流を通じて新たな文化を創造し、岡山市らしさを市民が誇りを持って国内外に積極的に発信する都市を目指します。

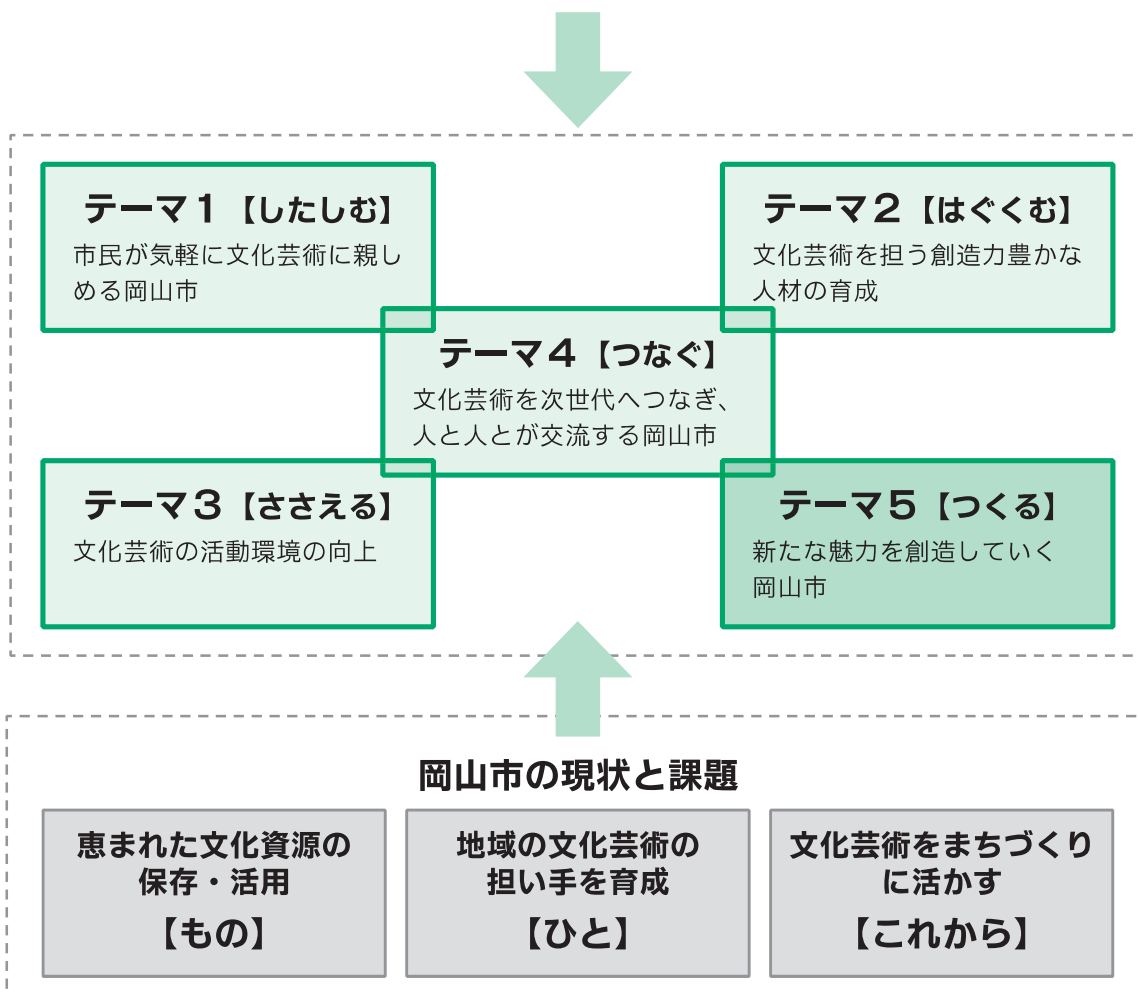
この長期構想と、本市の文化芸術振興の現状と課題を踏まえて、改訂版では、これまでテーマとしてきた「したしむ」「はぐくむ」「ささえる」「つなぐ」4つのテーマに、新たに「つくる」を加えました。



○岡山市文化芸術振興ビジョンの基本方針とテーマ

基本方針

岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市をめざす



テーマ1【したしむ】市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市

【期待される効果】

- ・市民が心のよりどころを得る、自己実現につながる
- ・感性が豊かになり、コミュニケーション力が養われる

【方向性】

既存の文化資源、多彩な人材を活かし、連携や役割分担により、市民一人ひとりが、日常生活の中で文化を感じ、ゆとりや潤いをもてるように、鑑賞や参加などの機会を充実し、気軽に文化芸術を楽しめる環境をつくる。



岡山フィルハーモニック管弦楽団

《施策と主な事業》

- (1) 市民の鑑賞機会の確保・促進
- (2) 市民参加の促進

- ・おかやま国際音楽祭や岡山市芸術祭の開催
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団によるコンサート
- ・市民の童話賞、市民の文芸、市民美術展などの作品募集

テーマ2【はぐくむ】文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成

【期待される効果】

・文化芸術に関わる人材が増えることで、様々なジャンルの文化活動が行われることになり、多様性と発想の豊かさを持った市民が増える

【方向性】

「企画・制作する人」や「表現する人」、「参加する人」、「支援する人」など、文化芸術のあらゆる担い手を育成する。子ども・青少年の育成に重点的に取り組む。

《施策と主な事業》

- (1) 担い手の育成
- (2) 子ども・青少年の支援
- (3) 芸術文化団体間の連携・支援

- ・市民学芸員、美術館ボランティア、岡山シンフォニーホールサポーター活動
- ・小中学校音楽鑑賞教室
- ・岡山市ジュニアオーケストラの運営
- ・チルドレン・ミート・アート・プログラムの実施



チルドレン・ミート・アート・プログラム
(いけばな体験教室)

テーマ3【ささえる】文化芸術の活動環境の向上

【期待される効果】

・文化活動を支える施設・資金・人・情報などの仕組みを構築することで、文化の担い手のさらなる活躍が期待される

【方向性】

助成金・寄付・チケットの購入や人的支援、広報連携やチラシの配置協力など、市民・企業・財団・行政などが、それぞれ文化芸術活動を支える。

《施策と主な事業》

- (1) 活動環境の向上
- (2) 様々な支援

- ・岡山シンフォニーホール、岡山市民会館などの施設利用の促進
- ・新しい文化芸術施設の整備
- ・区づくり推進事業補助金等の活用促進



岡山シンフォニーホール

テーマ4【つなぐ】文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市

【期待される効果】

- ・市民が郷土への誇りと愛着を感じ、郷土の文化を次世代に引き継ぐ
- ・地域の絆が深まることで、地域の課題解決力が向上する

【方向性】

文化芸術それ自体の価値だけでなく、人と人、人と団体、団体と団体をつなぎ、輪を広げ交流促進し、本市の魅力を高めていく。

《施策と主な事業》

- (1) 交流促進
- (2) 魅力向上

- ・邦楽や地域資源を活用したコンサートなどの開催
- ・歴史案内看板の設置
- ・岡山市文学賞（坪田譲治文学賞）の実施



西大寺観音院奉納コンサート
(おかやま国際音楽祭2016)

テーマ5【つくる】新たな魅力を創造していく岡山市

【期待される効果】

- ・新しいブランドの確立や地域オリジナルの魅力を創ることで、都市イメージが向上し、外から訪れる人が増える
- ・文化的な刺激が豊かなことにより、新しいアイデアを生み、クリエイティブに考え行動する多彩な人材が集積し、街の活力を育む

【方向性】

市民協働による文化事業の実施や、平成34年度開館予定の新しい文化芸術施設の整備などを通じて、市民の参加や創る活動を支援する。

《施策と主な事業》

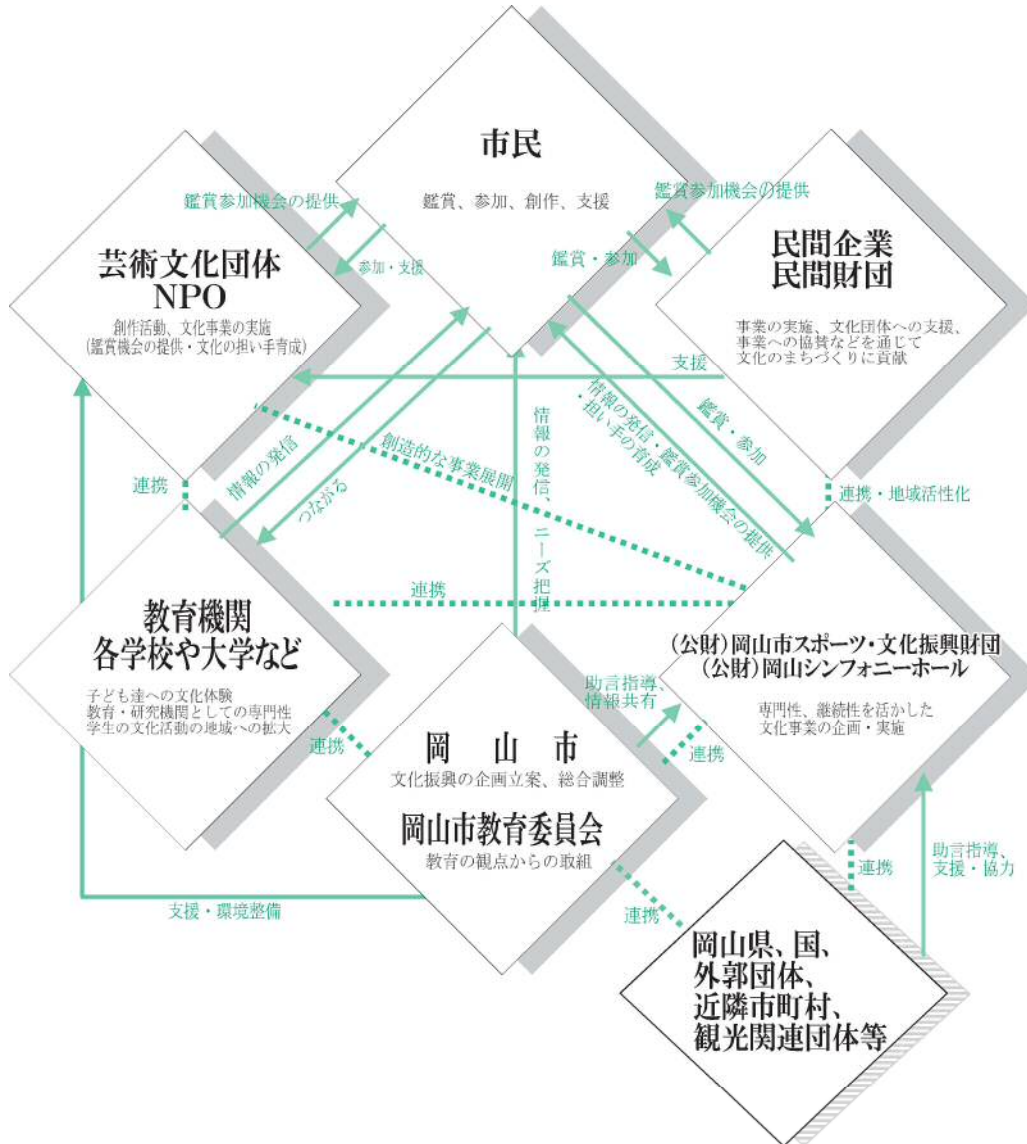
- (1) 地域で文化芸術を創る
- (2) 岡山市の新しい魅力づくり

- ・新しい文化芸術施設開館に向けてのワークショップ・シンポジウム・開館プレ事業などの開催
- ・岡山城・岡山後楽園の連携推進



岡山芸術交流2016

○岡山市文化芸術振興ビジョンの推進体制



○岡山市文化芸術振興ビジョンの効果指標

| | 効果指標 | H27(実績) | H33 |
|------|---|---------|--------|
| したしむ | 過去一年間に文化芸術イベントの鑑賞・参加をした市民の割合 (市民意識調査) | 45.2% | 60.0% |
| はぐくむ | 岡山シンフォニーホールや岡山シティミュージアム、オリエント美術館の小・中学校利用人数 | 3,065人 | 4,000人 |
| ささえる | 岡山シンフォニーホールの大ホール稼働率 | 70.6% | 80.0% |
| | 岡山市民会館の大ホール稼働率 | 82.1% | 維持 |
| つなぐ | 文化芸術で「市民同士の交流が進む」と考える市民の割合 (市民意識調査：文化芸術が身近になることにより期待する効果) | 27.0% | 32.0% |
| | 文化芸術で「観光客が増えるなど地域経済が活性化する」と考える市民の割合 (市民意識調査：文化芸術が身近になることにより期待する効果) | 23.0% | 26.0% |
| つくる | 新しい文化芸術施設開館に向けたワークショップ・シンポジウム・開館プレ事業などの開催件数 | 1件 | 延20件 |